

経営比較分析表（令和4年度決算）

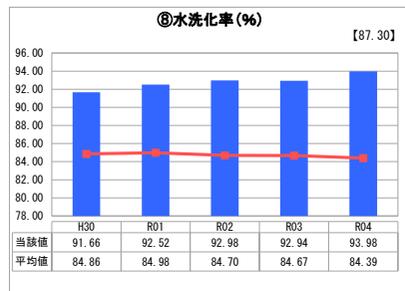
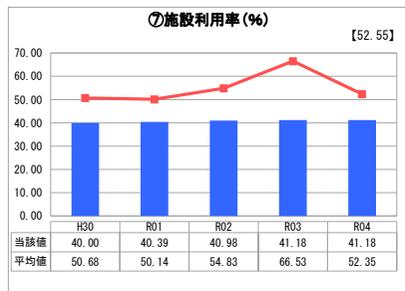
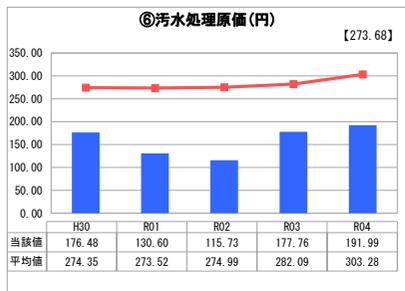
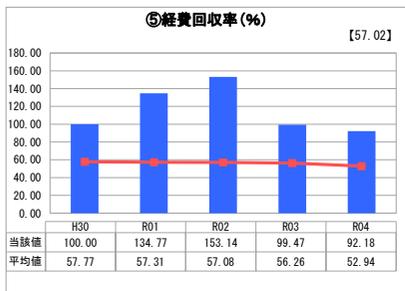
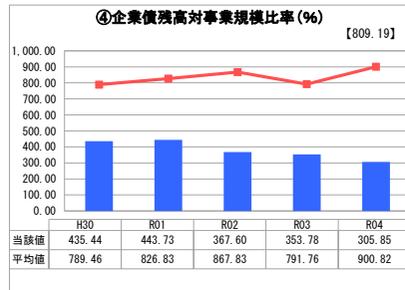
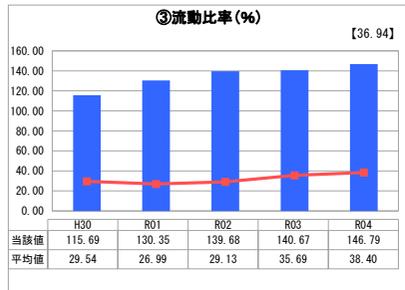
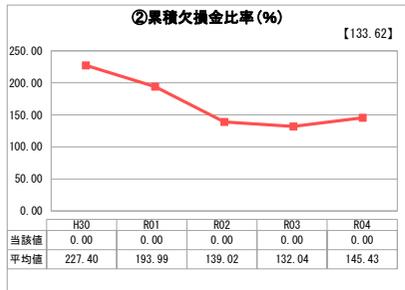
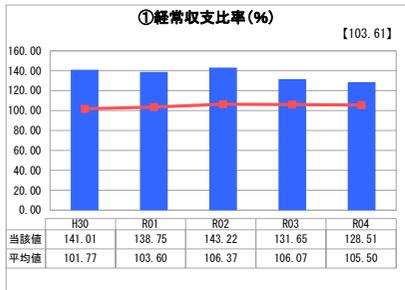
長野県 須坂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	79.22	1.87	100.00	3,640

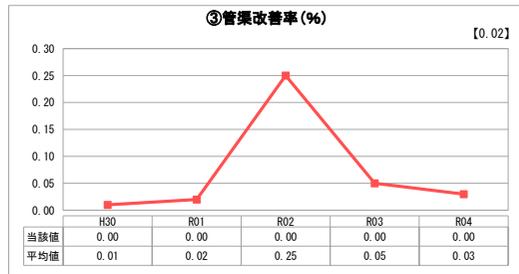
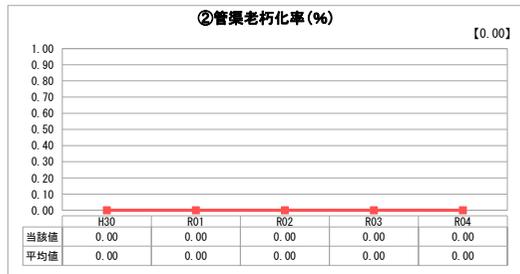
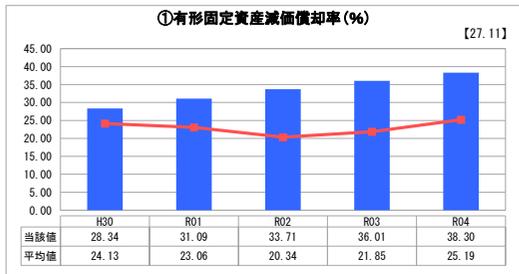
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,776	149.67	332.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
931	0.62	1,501.61

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 維持管理費等の費用を使用料や一般会計からの繰入金等で賄えているため、経常収支比率が100%以上であり、経営の健全性が示されている。
 ② 適正な料金設定による使用料収入や経費削減により健全経営を継続しているため、累積欠損金は計上していない。
 ③ 料金収入の設定及び起債の償還の平準化による効率的な経営をすることで現金・預金も収支に見合う額を確保している。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、処理場施設整備が完了しており新たな起債による整備がないため平均値を下回っている。今後も起債による整備を行う見込みはないため、平均を上回ることはないと考えられる。
 ⑤ 経費回収率は、類似団体を上回っているが100%を達成できていない。下水道使用料が前年より減少しているが、経年では必ずしも減少傾向となっていない。令和5年度中に全公共下水道に接続予定のため、今後も経過を注視し100%を達成できない状態が続く場合は料金改定等検討が必要。
 ⑥ 長期前受金戻入分の減少により昨年度より汚染処理原価は上昇したが、類似団体平均値を下回っている。
 ⑦ 施設利用率は平均値を下回っている。今後、人口の減少により利用率の減少が見込まれる。令和5年度中に全公共下水道に接続予定。
 ⑧ 水洗化率は、平均値を上回っている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、施設が耐用年数中のため微増傾向にある。令和5年度中に全公共下水道に接続予定。
 ② 管渠老朽化率は、耐用年数を経過したものが少ないため該当しない。
 ③ 管渠改善率は、更新した管渠がないため該当がない。

全体総括

現在の経営状況に関しては、例年並みの経常利益が見られ、全般的に健全な経営となっている。

今後については人口減少に伴う有収水量の減少による、使用料収入の減少や、施設の老朽化に伴う更新が見込まれることから、安定した経営を継続していくため、令和5年度中に全公共下水道に接続を予定している。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。